

各種補助金・研究助成一覧(平成29年度)

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
6月～7月	「理想の追求」プログラム	キヤノン財団	キヤノン財団の「理想の追求プログラム」では「人類の英知を深め、社会の理想を追求するような自然科学技術を核とした総合的な研究プロジェクト」に対して助成を行ないます。このプログラムでは「Frontier、Welfare、Sustainability」の視点からキヤノン財団が毎年研究課題を提示します。研究課題にグローバルな視点から挑戦し、人類に夢を与え、大きな課題を解決するような、分野融合的研究プロジェクトを募集します。2016年度も引き続き「食に関する研究」を募集します。	平成29年/6/1～7/14	—	助成申込額は3,000万円を上限として、全体で数件程度を予定	原則3年間		キヤノン財団事務局 TEL:03-3757-6573 FAX:03-3757-0674
6月	「産業基盤の創生」プログラム	キヤノン財団	キヤノン財団の「産業基盤の創生プログラム」では「新しい科学的知識の獲得、新しい技術の創出によって、イノベーションを惹起し、社会・経済の発展に寄与するような研究」に対して助成を行います。日本の強い産業を更に強化する、あるいは新たな産業を興すことによって経済発展を促すような科学技術分野にあって、独創的、先駆的、萌芽的な研究を対象とします。分野としては、将来社会において重要になることが想定されるICT・エレクトロニクス・ロボティクス、健康・医療・生命科学、バイオテクノロジー、環境・資源・エネルギー、材料・デバイス・プロセス、サービスサイエンスです。また、社会的に複雑で難しい課題を解決するために、分野間の知的な触発や融合を図る挑戦的な新興・融合テーマなども対象として含めます。	平成29年/6/1～6/30	—	1件あたりの助成申込額は1,500万円を上限として、全体で10数件程度	1年間あるいは2年間のいずれか		キヤノン財団事務局 TEL:03-3757-6573 FAX:03-3757-0674
3月～4月	長寿科学研究者支援事業	長寿科学振興財団	長寿科学研究に携わる研究者の研究活動を幅広く支援することにより、研究者の育成と長寿科学の振興を図るために、研究課題の募集を行います。募集研究課題は予防・診断・治療法の開発分野、看護・介護・栄養分野など長寿科学に貢献できるすべての分野を研究課題とします。	平成29年/3/13～4/10	—	1件につき最大600万円	1年から3年間		長寿科学振興財団 事業推進課 TEL:0562-84-5411 FAX:0562-84-5414 E-mail:research@tyojyu.or.jp
3月～4月	第36回リバネス研究費 池田理化再生医療研究奨励賞	リバネス	ESC、iPSC、MSC等の幹細胞やその他の細胞を用いたヒト臨床を伴わない研究。再生医療の基盤を構築する上で必要な基礎研究(分子細胞生物学、細胞生物学、発生工学、組織工学、材料工学等)、再生医療の実現に必要な細胞製造・加工プロセスに関わる基盤技術研究、創薬技術への利用や病態解析等の応用研究の他、ここにはない新規のアイデアも対象とします。	～平成29年/4/30	—	50万円			E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 海底探査推進特別賞	リバネス	全海底地形図の作成に資する全ての研究	～平成29年/4/30	—	50万円			E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 天然物由来素材研究推進賞	リバネス	植物、微生物、海洋生物など天然物から抽出した物質の生理活性を明らかにする研究	～平成29年/4/30	—	50万円			E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～5月	第36回リバネス研究費 L-RAD賞	リバネス	自然科学、社会科学、人文科学の研究、開発、調査全般	～平成29年/5/31	—	50万円			E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～4月	第36回リバネス研究費 クラレ賞	リバネス	3次元細胞培養プレートElplasia®(エルプラシア)を用いた研究テーマ Elplasia®は、1ウェル内に102μmオーダーのマイクロ空間を有する3次元細胞培養プレートです。今回の研究費では、Elplasia®を用いた研究テーマを募集いたします。	～平成29年/4/30	—	50万円および3次元細胞培養プレートElplasia®の無償提供			E-MAIL: incu-be@lne.st
3月～5月	四方記念地球環境保全研究助成基金	自然環境研究センター	下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査をとともう独立した研究を対象とします。(1)熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究(2)絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究(3)人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究	～平成29年/5/8	—	50万円まで	おおむね2年以内		一般財団法人 自然環境研究センター内 公益信託 四方記念地球環境保全研究助成基金 事務局 TEL:03-6659-6310 FAX:03-6659-6320

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
3月～4月	「次世代火力発電等技術開発／次世代技術の早期実用化に向けた信頼性向上技術開発」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業では、石炭火力発電所から排出されるCO2を大幅に削減させるべく、平成28年6月に官民協議会で策定した「次世代火力発電に係る技術ロードマップ」で示された次世代火力発電技術のうち、700℃以上の主蒸気温度を適用した先進超々臨界圧火力発電(A-USC※1)の実現を目指し、Ni基材料の信頼性向上技術開発を実施します。※1 先進超々臨界圧火力発電(Advanced Ultra Super Critical)	平成29年/3/7～4/7	助成対象費用の2分の1以内	1件当たり年間の助成金の規模は160百万円程度	平成29年度から平成30年度	Ni基材料の信頼性向上技術開発は、「高温材料信頼性向上技術開発」及び「保守技術開発」を実施し、2020年以降に増大する経年石炭火力のリプレース及び熱効率向上需要に対応し、送電端熱効率46%(高位発熱量基準)達成可能な商用プラントへ適	環境部 クリーンコールグループ 担当者:足立、阿部(一)、在間 FAX:044-520-5253 E-MAIL: cct.projects@ml.nedo.go.jp
3月～4月	「高効率な資源循環システムを構築するためのリサイクル技術の研究開発事業」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	我が国の都市鉱山を有効に活用するため、資源価値の高い小型家電等の廃製品を対象に、現状リサイクルが行われている元素群(鉄、アルミ、銅、金、銀など)のみならずレアメタル等も含めた多様な金属について、低コストで高効率な再生金属資源の生産(金属のリサイクル)を可能とする革新的な技術を開発するとともに、バリューチェーンを形成する動静脈連携を強化する情報、制度、社会システムの構築を目指す。	平成29年/3/10～4/10	委託	事業規模380百万円	平成29年度～平成34年度	我が国の都市鉱山を有効に活用するため、資源価値の高い小型家電等の廃製品を対象に、現状リサイクルが行われている元素群(鉄、アルミ、銅、金、銀など)のみならずレアメタル等も含めた多様な金属について、低コストで高効率な再生金属資源の生産(金属のリサイクル)を可能とする革新的な技術を開発し、バリューチェーンを形成する動静脈連携を強化する情報、制度、社会システムの構築を目指す	環境部 3Rグループ 担当者:服部(安)、半沢、阿部(正) FAX:044-520-5253 E-MAIL:3r-pj@ml.nedo.go.jp
3月～5月	「太陽光発電システム効率向上・維持管理技術開発プロジェクト」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	今回の公募は下記(Ⅰ)①、(Ⅰ)②及び(Ⅱ)を対象といたします。(Ⅰ)「太陽光発電システム効率向上技術の開発」パワーコンディショナや架台等の周辺機器の高機能化や、追尾・反射・冷却等の機能付加により発電量を増加させる技術の開発や、基礎・架台の施工や太陽電池モジュール取付技術の開発によってBOSコストを低減させる等の技術を開発し、発電コストを低減する。(Ⅱ)「太陽光発電システム維持管理技術の開発」発電機器・設備の健全性の自動診断や故障の回避、自動修復など、発電システムの劣化予防や長寿命化、人件費の削減等に寄与する管理システムやメンテナンス技術を開発し、発電コストを低減する。	平成29年/3/17/～5/9	助成対象費用の2分の1	1提案の年額を最大1.5億円(NEDO負担額7,500万円)	平成29年度から平成30年度	本事業では、太陽電池以外のBOSや維持管理の分野を対象に、発電システムとしての効率向上とBOSコストや維持管理費の削減に効果的な技術開発を行い、発電コストを低減することを目的とします。	新エネルギー部 太陽光発電グループ 担当者:西村、森田 E-MAIL: pvggroup@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
3月～4月	「二酸化炭素原料化基幹化学品製造プロセス技術開発／二酸化炭素資源化プロセス技術開発」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本プロジェクトでは、高効率の光触媒を用いて太陽エネルギーにより水から水素を製造(ソーラー水素)し、高効率分離膜により水素を分離・精製して、さらにソーラー水素とCO2を原料として高効率合成触媒を用いてプラスチック原料等の基幹化学品を製造するプロセス等を開発しています。今回、市場の変化等にも対応可能な更なるCO2削減プロセスを開発するため、目的のオレフィンC2, C3, C4それぞれの収率を大幅に向上する高効率合成触媒等の開発について公募を行います。	平成29年/3/21～4/19	委託	平成29年度の事業規模は2億円程度	平成29年度～平成33年度	本事業では、高効率の光触媒を用いて太陽エネルギーにより水から水素を製造(ソーラー水素)し、高効率分離膜により水素を分離・精製して、さらにソーラー水素とCO2を原料として高効率合成触媒を用いてプラスチック原料等の基幹化学品を製造する一連のプロセス等を開発中です。これらの技術の確立し、CO2排出量削減や化石資源に依存しない原料による基幹化学品の製造を目指しています。	環境部 環境化学グループ 担当者:橋高、服部、山栗、吉澤 FAX:044-520-5253 E-MAIL: green@ml.nedo.go.jp
3月～4月	「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	2030年時点において高度な技術が浸透した社会を実現するために必要となる、低消費電力なデータ収集システム(高速処理、知的処理、小型化、低コスト化等)、データストレージシステム(大量データ・高速処理等)、データ解析システム(人工知能、高速処理、知的処理、エッジ・ミドル・クラウド処理の最適化等)、セキュリティ(データ保護技術、攻撃の検知技術、脆弱性対処技術等)等について、我が国と世界の状況に鑑み、具体的な用途やシステムを想定し、実用化への道筋をつける、革新的な基盤技術を研究開発します。また、垂直・水平連携等の体制により複数の要素技術(必ずしも全て新規開発とは限らない)を統合するシステム化技術等の研究開発を行います。	平成29年/3/24～4/24	委託	年間0.5～2億円程度/件	平成29～32年度	本事業では、我が国で独創的な製品・サービス等を可能とする革新的な次世代IoT基盤技術(実世界にある多様なデータをセンサネットワーク等で収集し、サイバー空間で大規模データ解析・処理等を行い、現実世界を制御する技術)を開発・強化し、産業・社会の変革と効率化の実現を目的とします。	IoT推進部 担当者:千田、奥村、山下、植野 FAX:044-520-5212 E-MAIL:iot@ml.nedo.go.jp
3月～4月	平成29年度「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」テーマ設定型事業者連携スキームに係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	平成24年度から実施している「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」は、我が国における省エネルギー型経済社会の構築および産業競争力の強化に寄与することを目的としています。今般、このプログラムに新たにテーマ設定型事業者連携スキームを設け、省エネルギー効果が高い技術開発を対象として助成します。	平成29年/3/27～4/25	助成率2/3以内	5億円/件・年(NEDO助成費+実施者負担分)	5年以内	業界の共通課題及び異業種に跨る課題の解決に繋げる革新的な技術開発や新技術に関する統一的な評価手法の開発など、複数の事業者が相互に連携・協力して取り組むべきテーマ(技術開発課題)を設定・助成し、その開発成果を着実に普及させることにより、省エネルギーを実現することを目的としています。	省エネルギー部「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」事務局 FAX:044-520-5187 E-MAIL: shouene@nedo.go.jp
5月～7月	平成30年度ダノン学術研究助成金	ダノン健康栄養財団	日本国内で食と栄養に関する研究や種々の生活習慣病の予防などを対象とした研究に対して助成を行い、日本国内の健康・栄養関連の研究促進・奨励に努めています。「栄養・食品と健康に関する基礎的、臨床的、または疫学的研究」特に重点をおく研究テーマ:小児および高齢者の栄養、食習慣についての疫学、および乳製品・プロバイオティクスの有用性	平成29年/5/15～7/31		一般研究助成 4件以内、総額800万円/年 若手研究助成 4件以内、総額400万円/年	原則として1年間(平成30年1月1日～12月31日)		公益財団法人ダノン健康栄養財団 事務局 TEL:03-6890-9490 FAX:03-5724-2901 E-MAIL:josei@danone-institute.or.jp
～7月	平成29年度先端加工機械技術に関する研究助成	先端加工機械技術振興協会	先端加工機械技術に関する基礎的ならびに応用的な研究	～平成29年/7/31		1件当たり最高70万円、8件予定	平成29年11月頃から1年間		(一財)先端加工機械技術振興協会 研究助成係 TEL:03-3501-6701 FAX:03-3503-9697 E-mail:info@amtda.or.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
4月～6月	住友財団 2017年度基礎科学研究助成	住友財団	この助成は、重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ新しい発想が期待される若手研究者による萌芽的な研究に対する支援を行うものです。理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む。)	平成29年/4/15～6/30		総額 1億 5,000万円(1件当たり最大500万円)、90件程度			公益財団法人住友財団 TEL:03-5473-0161 FAX:03-5473-8471 E-MAIL:sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp
4月～6月	住友財団 2017年度環境研究助成	住友財団	環境問題の解決のためには、多面的アプローチによる分析と様々な対応策の構築が必要と考え、そのためのいろいろな観点(人文科学・社会科学・自然科学)からの研究に対する支援を行うものです。一般研究:環境に関する研究(分野は問いません。) 課題研究:2017年度募集課題「地域固有の環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」	平成29年/4/15～6/30		総額 1億円 一般研究 8,000万円 1件当たり最大 500万円 50件程度 課題研究 2,000万円 1件当たり最大1,000万円 2件を予定			公益財団法人住友財団 TEL:03-5473-0161 FAX:03-5473-8471 E-MAIL:sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp
4月～5月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」研究開発項目「1」高度なデータ活用を可能とする社会イ...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	人口減少・少子高齢化の進展の中で、社会インフラ分野の効率的かつ持続可能な事業運営は大きな社会的課題です。こうした社会インフラ分野に対して、IoT技術を一連の業務プロセスに導入するための標準化をはかり、IoT活用によるインフラ分野の運営効率化を図ることが期待されています。社会インフラのうち特に水道事業を対象とし、広域化・統合化・効率化を目的として、本事業を実施します。なお、事業実施にあたっては、別途NEDOより公募する「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業/水道IoTの社会実装推進に向けた検討」の実施者と密に連携す	平成29年/4/4～5/10	委託	本公募に関する平成29年度の予算規模は約7.5億円を予定	NEDOが指定する日から平成31年2月28日まで		IoT推進部 担当者:工藤、小泉、大宮 FAX:044-520-5212
4月～6月	平成29年度「国際研究開発/コファンド事業/日本-イスラエル研究開発協力事業」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDOは、平成26年7月、イスラエル産業技術研究開発センター(MATIMOP)との間で基本協定書(MOU)を締結し、両国の産業技術分野における研究開発を促進することに合意しました。本事業では基本協定書に基づき、両国企業の共同研究開発を支援します。対象となる技術分野は、新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット、機械システム、電子・情報(AI・IoT含む)、材料・ナノテクノロジー、バイオテクノロジー等で、研究開発要素を含む事業とします。	平成29年/4/7～6/15	大企業:1/2助成 中小・ベンチャー企業*:2/3助成	NEDO負担分と事業者負担分を合わせて、平成29年度は2,500万円/件、平成30・31年度は単年度あたり5,000万円以内/件(最長3年度)を原則上限	平成29年度～平成31年度までの間	国際研究開発/コファンド事業では、我が国の高い技術力の海外市場への展開の推進、経済成長促進、及び産業競争力強化の早期実現を図るため、最先端の技術を持つ国内外の企業による国際共同研究プロジェクト等に対し、NEDOが海外の技術開発マネジメント機関等とともに「コファンド形式」等により資金支援を行い、オープンイノベーションによる新技術等の海外展開促進に資するこ	国際部 コファンド担当 TEL:044-520-5190 FAX:044-520-5193 E-MAIL:international@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「ダイナミック...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。a. ダイナミックマップの試作・整備及びセンサー機能や更新手法等の確立 b. 地図情報の差分更新・自動図化 c. 大規模実証実験の実施・管理	平成29年/4/12～5/12	委託	事業規模(平成29年度)450百万円	平成29年度～平成30年度	静的高精度3D地図データの仕様・精度の検証、準静的・準動的データの生成・更新・配信システムの検証および動的な情報と車載機に配信されたダイナミックマップデータとの車載機上での紐付けの検証を行うことにより、以下の実現を目指します。・ダイナミックマップの事業化に向けた最終仕様の確認・合意・ダイナミックマップの国際標準化、デファクト化の推進・ダイナミックマップ活用に関する研究開発・アプリ	ロボット・AI部 担当者: 坂本、平林、齊藤 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
4月～6月	平成29年度予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の公募	中小企業庁	この事業は、デザイン開発、精密加工、立体造形等の特定ものづくり基盤技術(12分野)の向上につながる研究開発、その事業化に向けた取組を支援することが目的です。中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発及びその成果の販路開拓への取組を一貫して支援します。この事業の応募対象は、中小ものづくり高度化法(以下「法」という。)第3条に基づき経済産業大臣が定める「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に沿って策定され、新たに法第4条の認定を受けた特定研究開発等計画(以下「法認定計画」という。)を基本とした研究開発等の事業になり	平成29年/4/14～6/8	I. 大学・公設試等(補助率:定額1,500万円を上限) II. 中小企業・小規模事業者等(補助率:3分の2以内)	平成29年度(平成30年3月末まで)に行う研究開発等に要する補助金額の合計が4,500万円以下。	補助事業期間:2年度または3年		中部経済産業局地域経済部産業技術課 TEL:052-951-2774
5月～7月	2017年度「コスメロジー研究」公募	コスメロジー研究振興財団	コスメロジー(化粧品学)の進歩・発展に寄与する独創研究の援助。対象分野は 1)素材、物性に関する分野2)生体作用、安全性に関する分野3)精神、文化に関する分野で、一般研究(萌芽的研究、準備的研究も含む)	平成29年/5/8～7/	—	200万円、又は100万円、50万円(選考委員会の裁定による)	2年以内		公益財団法人コスメロジー研究振興財団 Tel:03-3206-7721 Fax:03-3206-7720
4月～7月	平成29年度 沖縄美ら島財団助成事業	沖縄美ら島財団 総合研究センター	亜熱帯性動物・植物、沖縄の歴史・文化及び公園機能の向上等に関する調査研究・技術開発並びに普及啓発活動を対象とし、以下に示す重点テーマの内容に沿うものとします。1.亜熱帯性動物に関する調査研究及び技術開発 2.亜熱帯性植物に関する調査研究及び技術開発 3.沖縄の歴史文化に関する調査研究及び技術開発 4.公園の管理運営に関する調査研究及び技術開発 5.自然環境保全とその適正な利用に関する普及啓発	平成29年/4/17～7/3	—	総額:500万円程度 調査研究・技術開発:1件あたり100万円以内 普及啓発等活動:1件あたり30万円以内	1年間を原則。延長申請を含め、最長で3年間までの期間申請を認めます。		一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 普及開発課 TEL:0980-48-2266 FAX:0980-48-2200
4月～5月	「洋上風力発電システム実証研究(低コスト施工技術調査研究)」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業では、発電コストを構成する、資本費(CAPEX)、運営費(OPEX)を対象として、低コスト化技術の調査研究を実施し、コスト低減の評価を行います。具体的には、我が国の海底地形・地盤に適した基礎構造(タワー)、洋上での工期を短縮できる洋上施工技術や撤去工法、効率的な洋上風況・海底地盤調査技術等について、関係する企業(風力発電事業者、EPC等)が共同で検討を行います。	平成29年/4/18～5/18	委託	NEDO負担額:総額4億円程度	平成29年度	洋上風力発電システムの低コスト化を目指した技術革新ニーズをピックアップし、どの先進的な技術が我が国の洋上風力発電市場の低コスト化に資するかを特定することを目的と	新エネルギー部 風力・海洋グループ 担当者:迎、日置、梯、田窪 FAX:044-520-5276

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「次世代都市交...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	平成29年/4/21～5/22	委託	事業規模(平成29年度)260百万円	平成29年度～平成30年度	ART(次世代都市交通システム)の速達性を向上させる高度化PTPS(公共交通優先交通信号システム)及び歩行者移動支援システム等の実証実験を通じた仮説の検証を行い有効性を訴求することにより、以下を実現します。・Next step ART技術の社会実装に向けた社会受容性の醸成・高齢者、障害者を含む幅広い利用者にとって便利で使いやすい公共交通の実現へ向けた利便性やアクセシビリティ(物理的、情動的)	ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者:古田、平林、齊藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
4月～5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「HMI(Hu...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	今回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図っていきます。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	平成29年/4/21～5/22	委託	事業規模(平成29年度)414百万円	平成29年度～平成30年度	実証実験の実施目的はドライバーのシステムへの理解、システムのドライバーのReadiness状態と運転行動特性の把握、歩行者・自動運転車以外の車とのインタラクションの検証を行うことにより、以下を実現します。・実交通環境走行データ収集によるデータベース構築・データ分析によるReadiness指標および計測方法の自動車工業会HMIガイドライン化と国際標準(ISO/TC22/SC39)提案・ドライバーモニタリングシステム(DMS)実験結果のR79(国連規則No.79)に記載されているACSF(Automatically Commanded Steering Function)の改定における基準	ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者:松本、平林、齊藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
4月～5月	「地熱発電技術研究開発／地熱発電の導入拡大に資する革新的技術開発」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDOでは、平成25年度から地熱資源の利活用のための研究開発を実施してきました。こうした中、平成28年4月に策定された「エネルギー・環境イノベーション戦略」において、温室効果ガス排出量を削減するに有望な革新技術として、超臨界状態にある地熱流体を利用する地熱発電（以下、超臨界地熱発電という）が挙げられました。本事業では、超臨界地熱発電の実現可能性を調査し、当該技術に関する今後の研究開発の方向性を示すことを目的とします。これまでのNEDOの先導研究等で検討が進められてきた当該技術を構成する各要素技術、並びに、それらを組み合わせたシステム技術について、調査・検討を実施します。具体的なテーマは以下のとおりです。Ⅰ 超臨界水の状態把握、および地下現象の予測シミュレーション技術 Ⅱ 超臨界地熱発電の実現に必要な材料・機器の検討 Ⅲ 超臨界地熱発電システムの経済性評価 Ⅳ 環境影響の最小化と安全性確保の検討	平成29年/4/26～5/25	委託	0.3～1.2 億円／件程度	平成29年度		新エネルギー部 熱利用グループ 担当者:加藤 FAX:044-520-5276
4月～5月	「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産業連携等の総合的展開／実データで学ぶ人工知能講座」に係る...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業では、我が国の将来を支える人工知能技術(AI)の発展の「場」(拠点)を大学等に構築し、AI分野の技術を支える人材を育成します。また、拠点を中心として多方面の人材の交流を図り、関連技術を含めた新たな技術シーズの発掘や技術の応用・発展に資する取組みにより、当該技術を担う人材が育つという「好循環」を事業終了後も継続的に形成することを目指します。	平成29年/4/27～5/29	委託	平成29年度から平成31年度までの総額220百万円以内	平成29年度～平成31年度(3年間)	本事業では、AIに関する優れた実績を有する機関を人材育成拠点として、企業が必要とする最先端のAI技術について、新たな事業・産業を創出する力を有する即戦力人材を育成し	ロボット・AI部 担当者:金山、藤田、堀川 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL:ai_jissou@ml.nedo.go.jp
5月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)／重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」に係る...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本研究開発では、IoT技術の活用ニーズの急速な高まりにより、実施中の要素技術主体のIoT向けセキュリティ対策技術への取組に加え、社会実装(IoT機器への組込み)技術に取り組みます。初年度は、研究開発実施機関とインフラ事業者間を結ぶIoT機器ベンダーとの協業体制構築として取り得る組合せとその実現に向けた課題の検討、当該領域の市場性評価、インフラ事業に社会実装するIoTシステムの評価技術、IoTセキュリティを担う人材に係る課題の調査等を実施します。次年度以降は、上記の調査・検討に基づき、開発中のIoTセキュリティ技術を社会実装する上で必要となる協業体制の実現、当該技術の普及を促すため、提供する製品・システムがセキュリティ要件を満足していることを客観的に示すための評価技術の確立と仕組みの構築及びそれらを継続的に運用していくための体制構築、また、導入・運	平成29年/5/1～5/31	委託	平成29年度における本事業の規模は、0.7億円	平成29年度～平成31年度(予定)		IoT推進部 担当者:小島、斎藤、藤野 E-MAIL:cyber-sec@ml.nedo.go.jp
5月～6月	平成29年度「ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業では、ものづくり分野、サービス分野(生活支援分野等を含む。)において、ロボットの初期導入コストの2割以上削減に向け、ロボットの本体価格を引き下げ、汎用的な作業・工程に使えるロボット(プラットフォームロボット)の開発(ハードウェア・ソフトウェアの共通化)を実施し、これらの各分野のロボット未活用領域において、ロボット導入を促進するプラットフォーム化されたロボットシステムを整備します。	平成29年/5/1～6/9	委託	③「ロボットのプラットフォーム化技術開発(ソフトウェア)」1件当たり年間450百万円以内 ④「ロボットのプラットフォーム化技術開発(ハードウェア)」1件当たり年間10百万円～150百万円程度	平成29年度～平成31年度(3年間)	ものづくり分野、サービス分野(生活支援分野等を含む。)において、ロボットの初期導入コストの2割以上削減に向け、ロボットの本体価格を引き下げ、汎用的な作業・工程に使えるロボット(プラットフォームロボット)の開発(ハードウェア・ソフトウェアの共通化)を実施し、これらの各分野のロボット未活用領域において、ロボット導入を促進するプラットフォーム化さ	ロボット・AI部 担当者:安川(優)、柿元、木村、白石 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL:robo-marc@ml.nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
5月～6月	「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動走行システム/大規模実証実験」のうち「歩行者事故低減...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	回の大規模実証実験は、5つの技術領域(ダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティ、歩行者事故低減、次世代都市交通)を中心に、自動車メーカー等の参加のもと、公道の実交通環境下において技術検証を行っていくものです。また、今後の実用化に向けた技術面、運用面、制度面等での具体的課題の抽出とともに、海外メーカー等にも参加を呼び掛け、国際連携・協調の推進等も図ってまいります。更に、別途、自動走行システムに対する一般の方々の正確な理解促進と社会受容性の醸成等に向けたイベントの開催を予定しています。	平成29年/5/8～6/8	委託	平成29年度 58百万円	平成29年度～平成30年度	歩車間通信技術(V2P)と歩行者高精度測位・行動予測技術による相互注意喚起機能の検証を行うことにより、以下を実現します。・実交通環境下での織り込み技術の歩行者事故低減有効性実証と、それらを活用したサービスの社会的価値	ロボット・AI部 次世代モビリティグループ 担当者:古田、齊藤、林 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243
6月～7月	平成29年度 小野医学研究助成および研究奨励助成	小野医学研究財団	脂質代謝異常に伴う疾患の病態生理に関する研究	平成29年/6/1～7/31	—	(1)研究助成金:1テーマにつき200万円。研究助成総数は12件以内 (2)研究奨励助成金:1テーマにつき100万円。研究奨励助成総数は16件以内	1ヶ月		公益財団法人 小野医学研究財団 事務局 TEL 06-6232-1960 FAX 06-6232-2527 E-mail:zaidan@ono.co.jp
5月～6月	2017年度 山田養蜂場みつばち研究助成基金	みつばち健康科学研究所	弊社は、これらの疾患を予防し、高齢者が体や心の健康を維持して若々しく活力にあふれ、自立した生活を送れる社会を実現する為、多様な作用を持つミツバチ産品や天然サプリメント素材を健康寿命の延伸に役立てる創造的な予防医学研究テーマを公募します。	平成29年/5/15～6/27	—	1) 予防医学研究助成 i) 新規応募研究 ①細胞レベル、動物レベルの場合100万円/件 ②臨床試験の場合200万円/件 ii) 継続発展研究 ①細胞レベル、動物レベルの場合200万円/件 ②臨床試験の場合500～1000万円/件 2) 特別研究助成 100～500万円/件 3) 環境・養蜂研究 100万円	1) 予防医学研究助成 i) 新規応募研究 1年間 ii) 継続発展研究 1～2年間 2) 特別研究助成 1～3年間 3) 環境・養蜂研究 1年間	幅広い視野をもつ研究者による創造的で有用な研究テーマを支援し、科学的な解明を進めることで、予防医学研究をさらに発展させることを目的	株式会社 山田養蜂場 みつばち研究助成基金事務局
～11月	メカトロニクス技術高度化「研究助成」(2017年度事業分)	メカトロニクス技術高度化財団	本財団の研究助成事業は、これらの機械製品の進化と深化に資するものだけでなく、質量ある対象を支え、駆動し、制御するというメカトロニクス技術(Motion & Control)の発展に貢献する、基礎的または応用的研究を対象とします。この点を理解のうえ本応募要領に対応する研究テーマを設定し、申請していただく	～平成29年/11/6	—	1件あたり200万円を限度	2年間		公益財団法人 NSKメカトロニクス技術高度化財団 TEL:03-5496-5746 FAX:03-5496-5748 E-MAIL:nsk-fam@nsk.com
4月～9月	研究助成(基礎研究)	東電記念財団	公益財団法人東電記念財団は、我が国の産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として、電気・エネルギーに関わる試験研究への助成、およびこの分野の国際技術交流援助、また、同分野で意欲を持って研究に取り組む大学院学生への奨学金給付を行っております。このため、広く募集を行い、審査・選考して優れたものに助成いたしますので、意欲的な若手研究者の申込みをお待ちしております。	平成29年/4/1～9/29	—	500～1,000万円/件 7件程度	2年～3年		公益財団法人東電記念財団 TEL:03-3201-2659 FAX:03-3201-8630
6月	(2017年度)ATI研究助成	新世代研究所	本財団では、2017年度のATI研究助成テーマを募集を実施いたします。研究領域: <ナノサイエンス> ナノ領域の微細な材料やデバイス、加工プロセスを学術的・融合的に研究する萌芽的研究、チャレンジングな研究、常識を覆す独創的研究、およびナノ領域の新探索手法となる革新的計測・分析・評価・加工方法等を期待します。水和構造や生体単分子計測など、バイオナノサイエンスも対象とします。	平成29年/6/1～6/30	—	総額 1,000万円(予定) 1件あたりの助成額:100万円程度	1年間		公益財団法人新世代研究所 ATI研究助成担当 TEL:03-3255-5922 E-MAIL:ati-grant@sii.co.jp
5月～7月	EIG CONCERT-Japan「効果的なエネルギー貯蔵と配分」共同研究課題提案募集	科学技術振興機構(JST)	国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)では、研究者の国際的な交流を推進する「戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)」を実施しております。本事業の一環として推進するEIG CONCERT-Japanにおいて、欧州8カ国と協力し「効果的なエネルギー貯蔵と配分(Efficient Energy Storage and Distribution)」分野に関する研究交流の支援を行うこととし、課題	平成29年/5/2～7/14	委託	日本側研究者は3年間で1,800万円を上限	3年間		国立研究開発法人 科学技術振興機構 国際部 事業実施担当 エング、片山 TEL:03-5214-7375 FAX:03-5214-7379 E-MAIL:concert@jst.go.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
5月	「IoT推進のための横断技術開発プロジェクトの周辺技術・関連課題における小規模研究開発」に係る公募に...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	世の中に存在するあらゆるモノ(商品、物体、設備)がセンサを備えると共に、それらがインターネットに接続されるIoT(Internet of Things)社会が進展し、新たなサービスやビジネスモデルを生み出しつつあります。本事業は、NEDOにて現在実施中の「IoT推進のための横断技術開発プロジェクト」において、さらなる技術シーズの発掘・育成や技術課題の解決を目的とし、我が国発で独創的な製品・サービス等を可能とする革新的な次世代IoT基盤技術の実現に関連する周辺技術や技術課題の研究開発を募集します。なお、採択予定件数は若干数を予定しています。	平成29年/5/15～5/29	委託	20百万円以下／件の若干数を採択予定	平成29年度		IoT推進部 担当者:大西、奥村、千田 FAX:044-520-5212 E-MAIL:iot@ml.nedo.go.jp
5月～6月	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野」(先導研究)に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業は、現在の人工知能・ロボット関連技術の延長線上に留まらない革新的な要素技術の研究開発を狙いとして、人間を超越する又は人間に匹敵する人工知能、センサ、アクチュエータ等を新たな技術シーズとして研究開発し、これまで人工知能・ロボットの導入について考えもつかなかった分野での新たな需要の創出や我が国が強みを有する分野との融合による産業競争力の強化につなげていくことを目指しています。平成29年度は、本事業の「次世代人工知能技術分野」(研究開発項目[7])において、次世代人工知能技術の社会実装が求められる領域に関する課題の解決に資する先導研究をグローバルに実施します。具体的には、良質な現場データを活用し、「人工知能に関するグローバル研究拠点整備事業」で東京都臨海副都心地区及び千葉県柏地区に整備される国立研究開発法人産業技術総合研究所の産学官連携の施設において、平成30年度以降に実施される社会実装に向けた本格的な研究開発に繋げることを想定して、先導研究をグローバルに実施します。	平成29年/5/19～6/19	委託	年間 100 百万円以内を目安	平成29年度～平成30年度(2年間)	本事業では、平成28年度第2次補正予算として成立した経済産業省の「人工知能に関するグローバル研究拠点整備事業」により、東京都臨海副都心地区及び千葉県柏地区に整備される国立研究開発法人産業技術総合研究所の産学官連携の施設(以下「グローバル研究拠点」といいます。)において、国内外の叡智を集めて、平成30年度以降に実施される社会実装に向けた本格的な研究開発に繋げるべく、産学官連携による先	ロボット・AI部 担当者:「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」(先導研究)担当堀川、藤田(裕)、金山 TEL:044-520-5241 FAX:044-520-5243 E-MAIL:ai_jissou@ml.nedo.go.jp
5月～7月	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野」(調査研究)に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	「次世代人工知能・ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野」基本計画に示されている、平成29年度研究開発項目のうち、下記の3項目について、人工知能技術の社会実装の実現可能性を評価するため、書面による審査に加えてデモンストレーションによるパフォーマンス審査(プレゼンテーション及び実技)を経て、上位から最優秀提案テーマを1件、優秀提案テーマを数件選定し、その区分に応じて委託費上限額の傾斜配分を行い、	平成29年/5/22～7/18	委託	平成29年度から平成30年度までの総額180百万円以内	平成29年度～平成30年度(2年以内)		ロボット・AI部 担当者:「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」(調査研究)担当葛馬、藤田(裕)、金山 E-MAIL:ai_jissou@ml.nedo.go.jp
5月～6月	「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業／研究開発項目[2]IoT技術を活用した新たな産業保安...	新エネルギー・産業技術総合開発機構	国内の多くのプラント等で設備の高経年化や熟練作業員の減少等が進んでおり、重大事故のリスク増大が懸念されています。こうした産業保安分野に対して、IoT技術やビッグデータ解析等の新技術を活用することにより、プラント設備の信頼性を高めながら、効率的でより柔軟なメンテナンスの実現を両立することを目的として、本事業を実施します。なお、事業実施にあたっては、別途NEDOより公募する「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業／産業保安の高度化に資するプラットフォームや規制等のあるべき姿の検討」の実施者と密に連携するものとします。	平成29年/5/31～6/30	委託	事業全体で約5億円を予定	NEDOが指定する日から平成31年2月28日まで		IoT推進部 担当者:工藤、遠藤、服部 E-MAIL:iotd@ml.nedo.go.jp
5月～7月	平成29年度「未踏チャレンジ2050」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	本事業では、エネルギー・環境分野において、原則として産学連携に取り組む企業及び大学・研究機関等を対象に、2050年を見据えた温室効果ガスの排出削減を実施する革新的な技術・システムについて、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発の提案を募集します。	平成29年/5/31～7/18	委託	500～2000万円程度／(年・件)	最大5年。(原則3～5年とし、研究開発の途中段階でステージゲート審査を実施します。)	本事業は、2050年頃を見据えた温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術・システムについて、既存技術の延長線上になく、従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出し、将来の国家プロジェクト化や社会普及への道筋を示し、2050年頃の温室効果ガスの抜本的な排出削減に貢献す	イノベーション推進部 フロンティアグループ 担当者:加藤・高橋・戸田 TEL:044-520-5174 FAX:044-520-5177 E-MAIL:mitou@nedo.go.jp

募集予定月	事業名	事業主体	事業内容及び応募資格	募集時期	補助率	金額	期間	目標	問い合わせ先
6月～7月	平成29年度「国際研究開発／コファンド事業／日本－フランス研究開発協力事業」に係る公募について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDOは、平成22年9月フランス公的投資銀行(Bpifrance:旧OCEO)と、日仏企業のイノベーション促進のため協力することに合意し、覚書(MOU)を締結しました。本事業では、覚書に基づき、両国の企業等の技術開発、イノベーションにおいて、戦略的重要性のある分野で日仏企業間の連携が促進されることを目指しており、今般、Bpifranceと同時期に、日仏の企業等による研究開発協力事業の公募を行います。	平成29年/6/1～7/	大企業:1/ 2助成 中 小・ベン チャー企業 :2/3助成	NEDO負担分と事業者負担分を合わせて、平成29年度は2,500万円/件、	平成29年度～平成31年度までの間	国際研究開発／コファンド事業では、我が国の高い技術力の海外市場への展開の推進、経済成長促進、及び産業競争力強化の早期実現を図るため、最先端の技術を持つ国内外の企業による国際共同研究プロジェクト等に対し、NEDOが海外の技術開発マネジメント機関等とともに「コファンド形式」等により資金支援を行い、オープンイノベーションによる新技術等の海外展開促進に資するこ	国際部 コファンド担当 TEL:044-520-5190 FAX: 044-520-5193 E-MAIL: international@ml.nedo.go.jp